



DataScientist Society

# データサイエンティストの 採用に関するアンケート

2021年4月7日

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

## データサイエンティストの採用に関するアンケート

調査対象 : 日本国内一般企業（人事担当者向け）  
※従業員30名以上の企業を対象に、  
企業規模別にランダム抽出

調査手法 : 郵送法

調査期間 : 2020年8月26日～9月30日

有効回答数 : 計292社（発送5,437社、回収率5.4%）

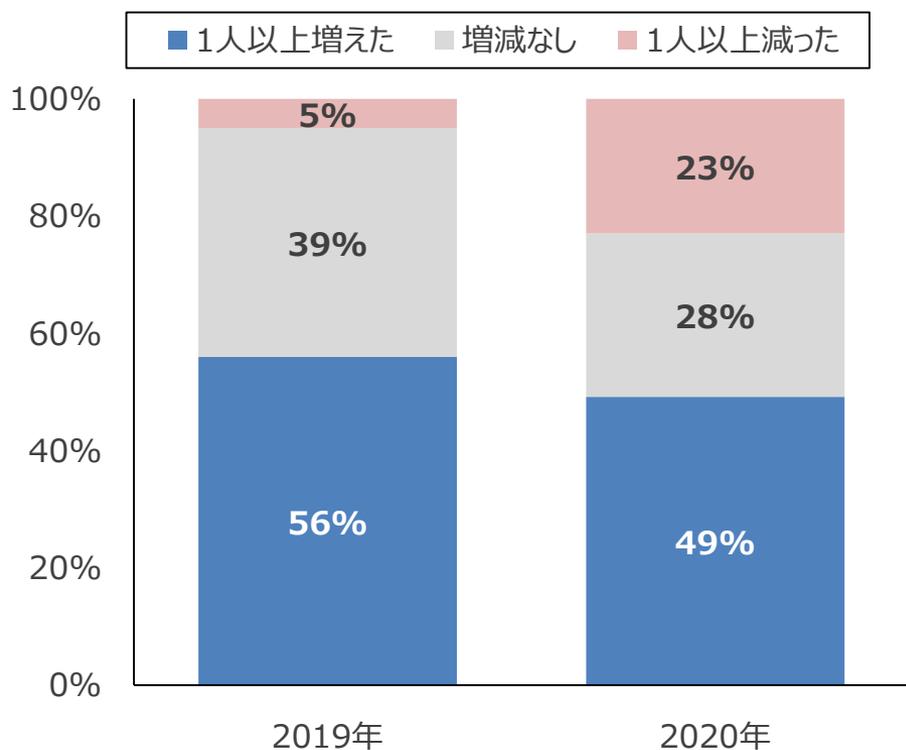
注 : 本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、  
合計しても100%とならない場合がございます。

# データサイエンティスト人材の増減と内訳

Q. データサイエンティスト人材の増減と、増やした人数の増員方法をお答えください。

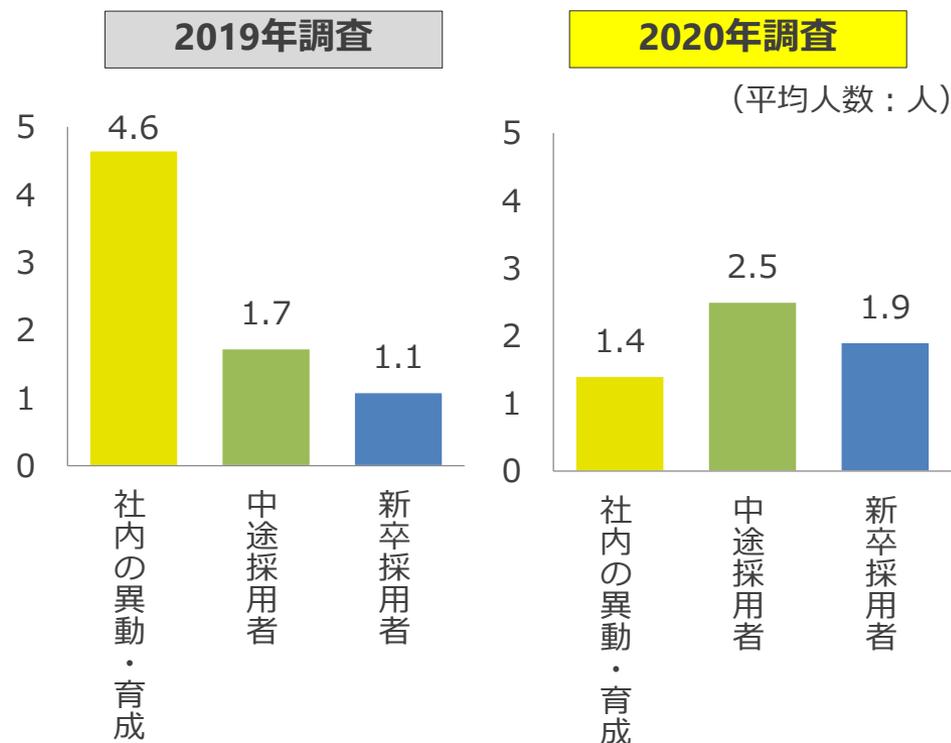
## この1年でデータサイエンティストを増やした企業は49% 内訳として、中途採用・新卒採用が昨年より増加

### 直近1年間でのデータサイエンティストの増減



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2019 n=82, 2020 n=61)

### 直近1年間で増えたデータサイエンティストの内訳



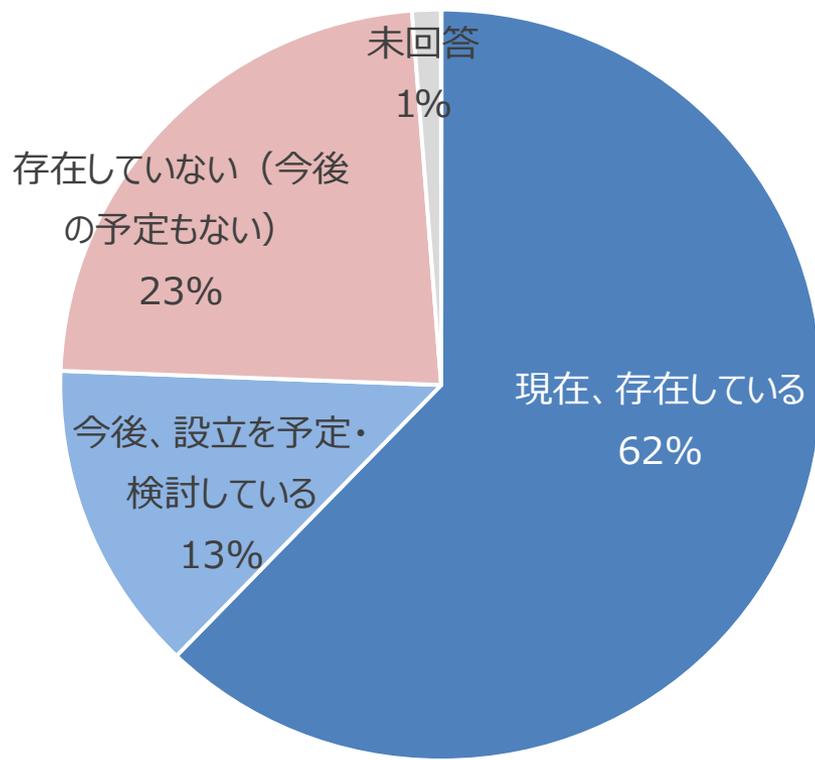
データサイエンティストの在籍者が1人以上で、直近1年間で1人以上増員があった企業(2019 n=52, 2020 n=30)

# 「データサイエンス」に関する専門の部署やチームの存在

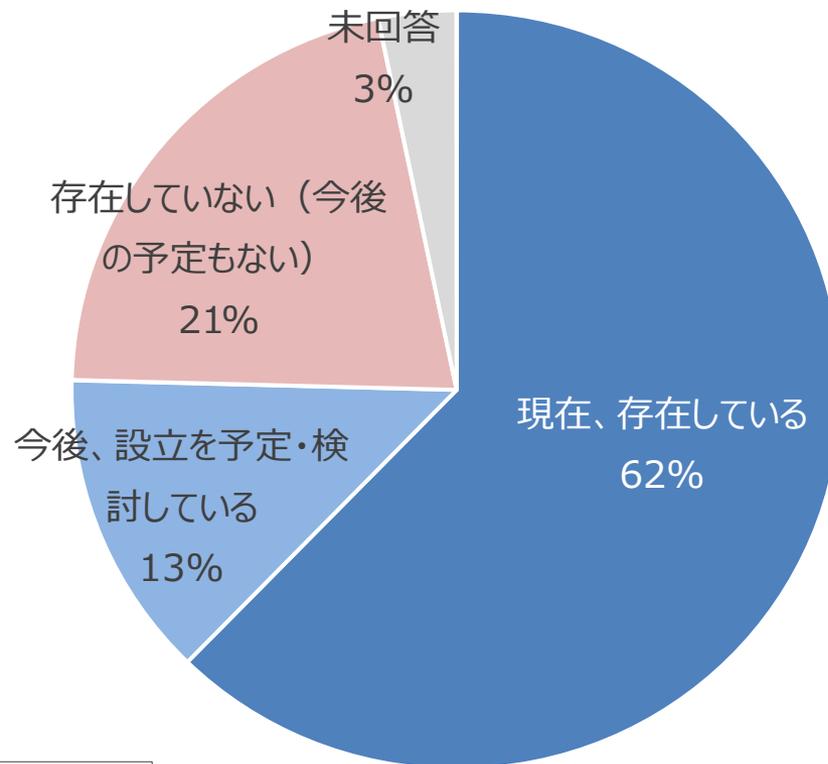
Q. 貴社では「データサイエンス」に関する専門の部署やチームがありますか。(SA)

## データサイエンスに関する専門部署については、 昨年とほぼ同じ傾向

2019年調査



2020年調査

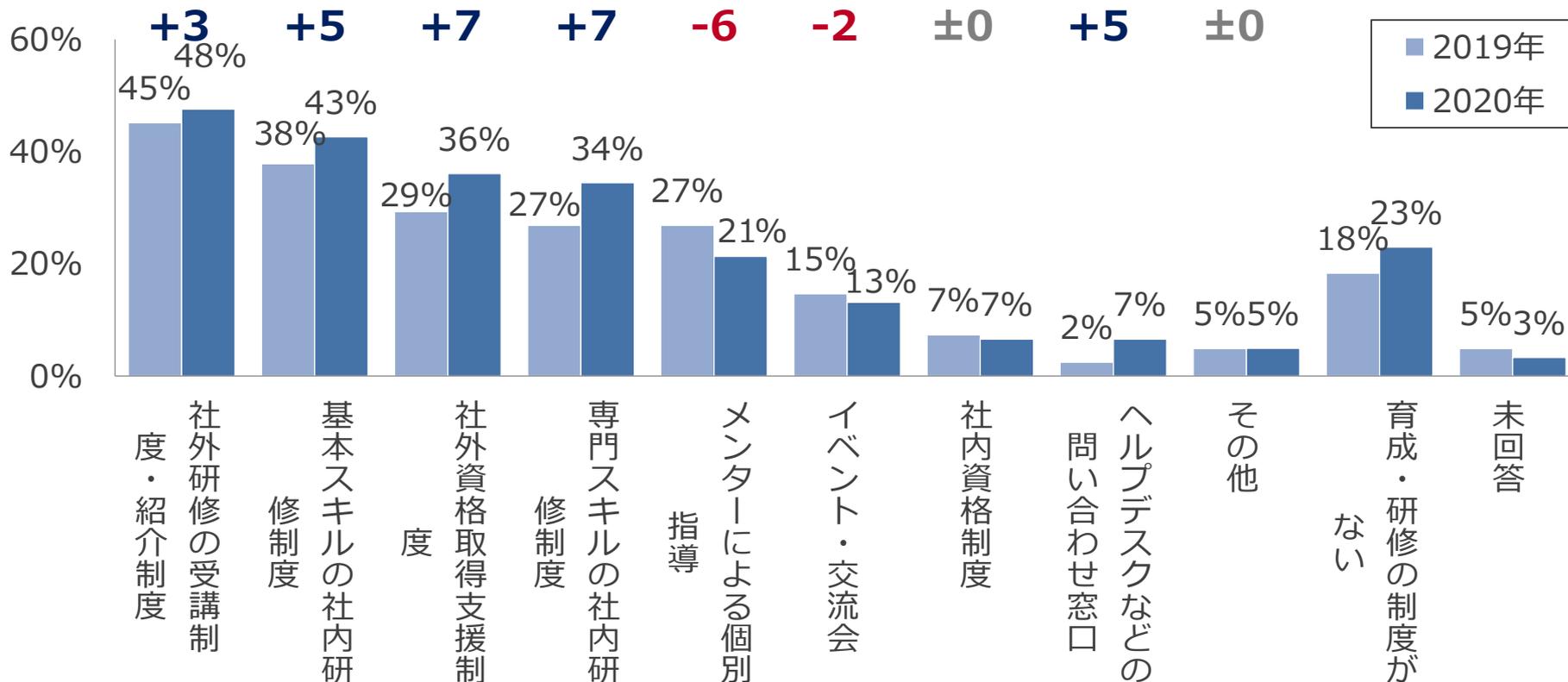


データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2019 n=82, 2020 n=61)

# データサイエンティスト人材の育成・研修制度

Q. データサイエンティスト人材の育成・研修の制度として貴社内にあるものをすべてお答えください。(MA)

## 伸び率が高いのは「資格取得支援制度」と「社内研修制度」 (いずれも+7ポイント)



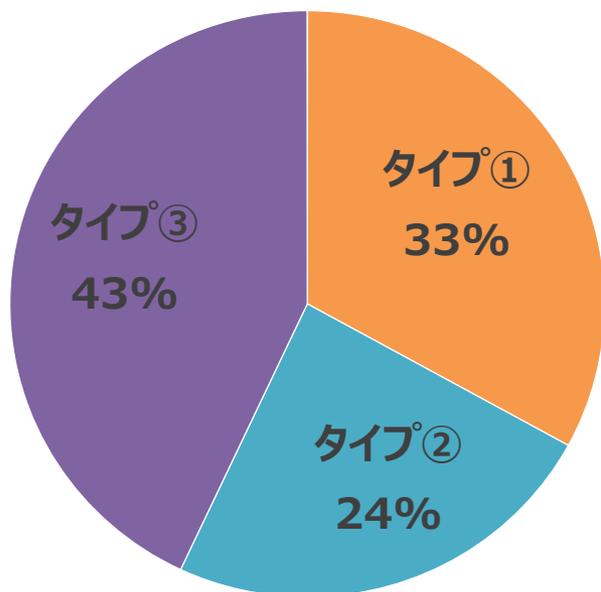
データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2019 n=82, 2020 n=61)

# データサイエンティストのタイプ別内訳

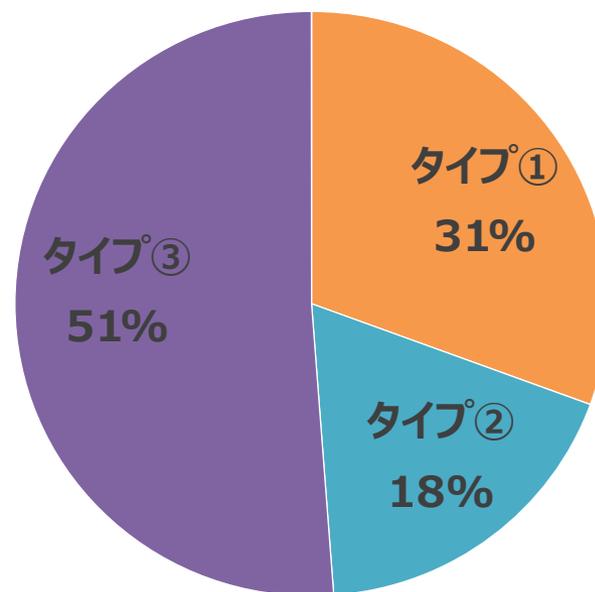
Q. 貴社のデータサイエンティストについて、タイプ別の内訳をお答えください。

## 2020年調査では、エンジニアタイプが51%を占め、 昨年調査よりも割合が上昇

2019年調査



2020年調査



**タイプ①**  
ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材  
(職種例：データマーケターなど)

**タイプ②**  
統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材  
(職種例：データアナリストなど)

**タイプ③**  
データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材  
(職種例：データエンジニアなど)

データサイエンティスト在籍者が1人以上で、タイプ別の回答があった企業(2019 n=70, 2020 n=52)

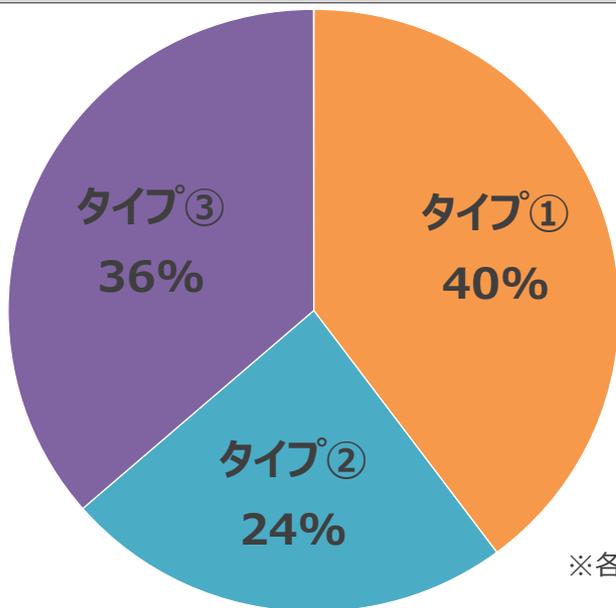
※各社のタイプ別人数比率の平均値

# 今後増員したいデータサイエンティストのタイプ別内訳

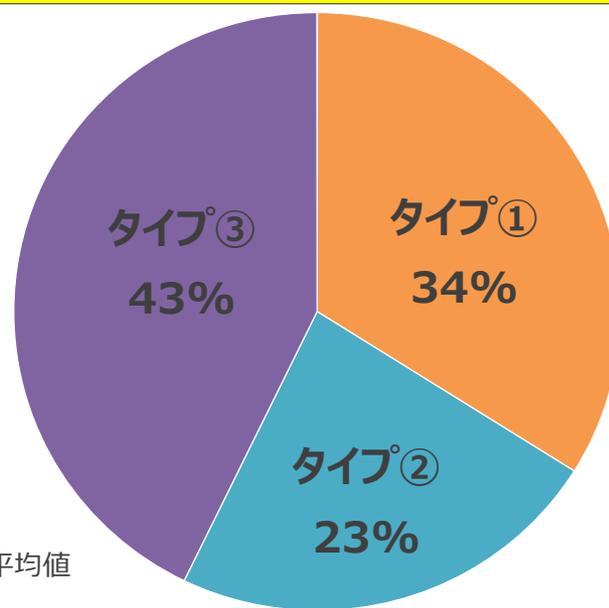
Q. 今後3年間で、データサイエンティストを何名程度増やす予定ですか。タイプ別にお答えください。

## 今後増員したいDSタイプは、エンジニアタイプが多い 昨年比で7ポイント増

2019年調査



2020年調査



※各社のタイプ別人数比率の平均値

**タイプ①**  
ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材  
(職種の例：データマーケターなど)

**タイプ②**  
統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材  
(職種の例：データアナリストなど)

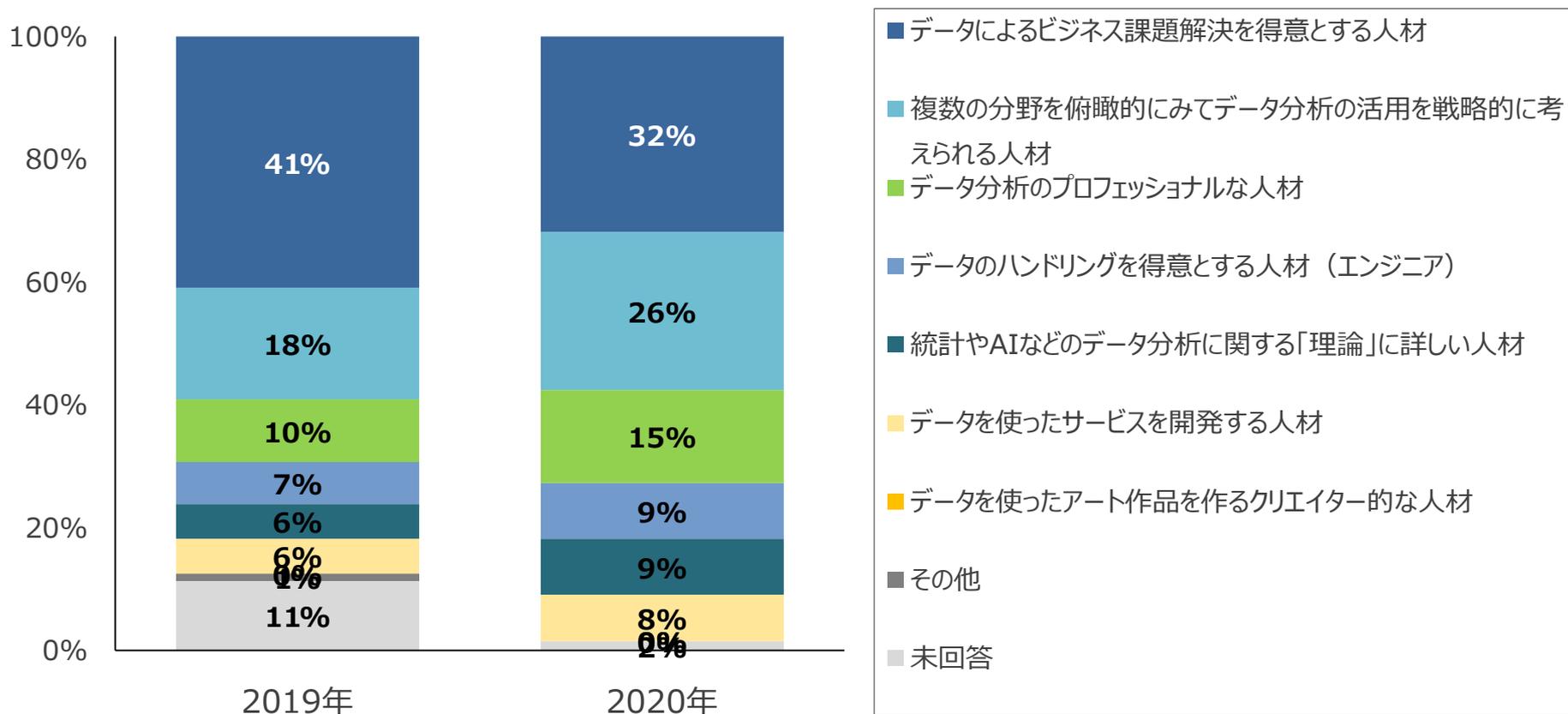
**タイプ③**  
データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材  
(職種の例：データエンジニアなど)

今後3年間でデータサイエンティストを1人以上増員予定の企業で、タイプ別の回答があった企業(2019 n=71, 2020 n=53)

# 今後3年間で採用・育成したいデータサイエンティストの人材像

Q.今後3年間で、貴社が採用・育成したいデータサイエンティストの人材像をお答えください。(SA)

## 採用・育成したいDS人材像として最も当てはまるものは、「複数の分野を俯瞰的に見れる人材」が8ポイント増



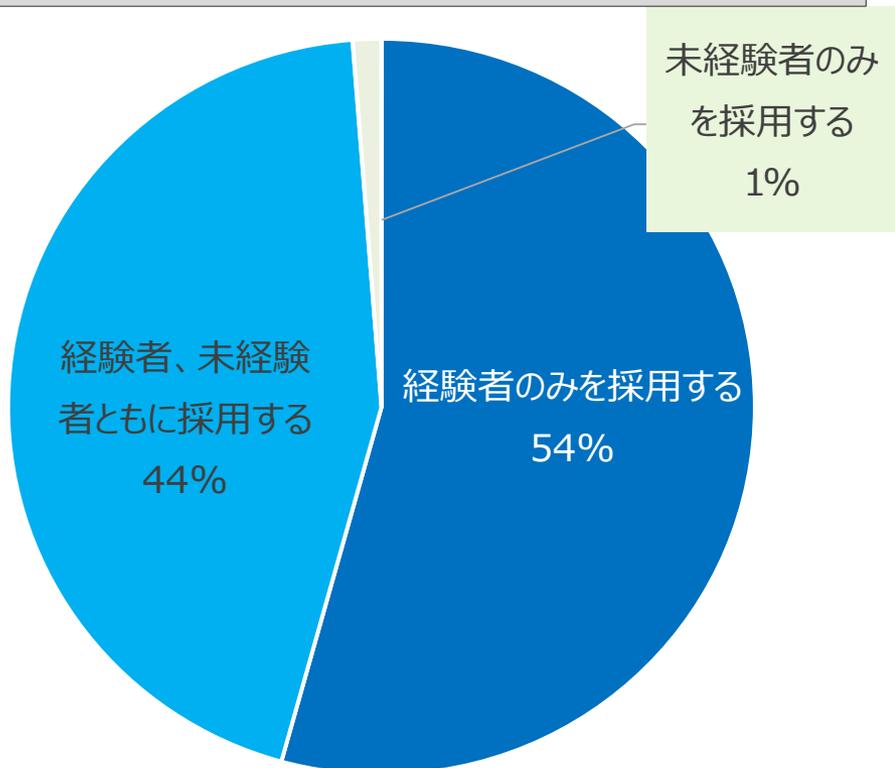
今後3年間で、データサイエンティストを1人以上増員予定の企業(2019 n=88, 2020 n=66)

# 今後3年間で採用・育成したいデータサイエンティストの人材像

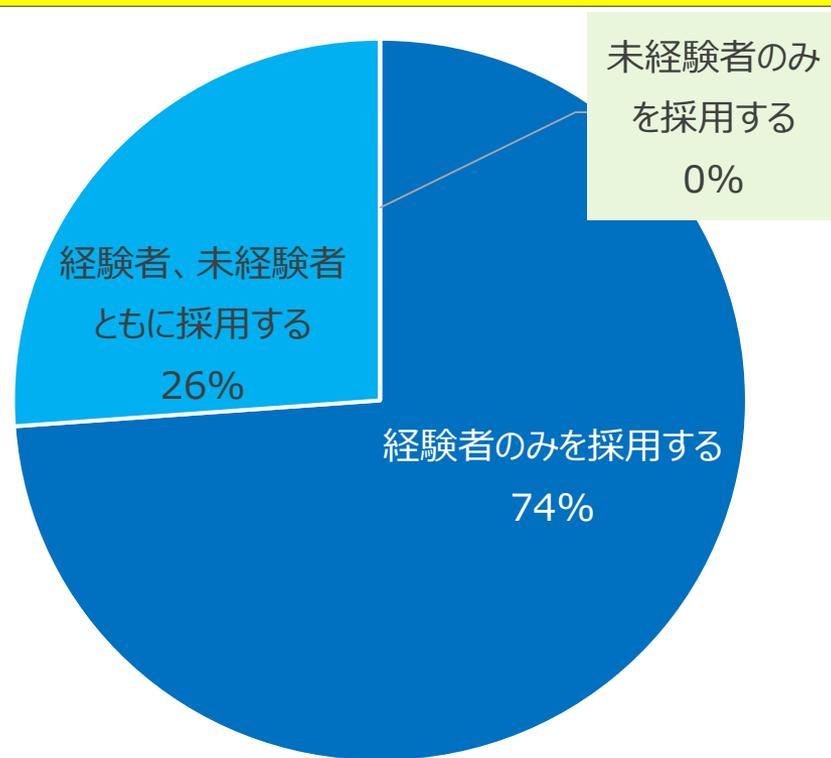
Q.データサイエンティストの中途採用者について、どのような人材を採用する方針ですか。(SA)

## 中途採用では「経験者のみ」採用する企業の割合が74% 前年の54%より大幅に増加

2019年調査



2020年調査



データサイエンティストの中途採用を予定している企業(2019 n=81, 2020 n=65)

## DSがいる企業の49%がDSを増員。社内異動は減少し、中途や新卒採用が増加

- DSがいる企業のうち、49%がDSを増やした
- 社内人材の活用が一巡し、徐々に外部人材を増やす方向にシフトしている
- 一方、DS人材向けの職種体系や給与体系を確立する企業は依然少なく課題

## 2020年調査では、エンジニアタイプの比率が増加、採用意向もエンジニアが増

- DSに占めるエンジニアタイプの比率は51%、採用意向でも43%と去年より増加
- PoCから社会実装フェーズに移行し、実開発を担う人材のニーズが高まっている可能性

## 求める人材像として「俯瞰的にデータ活用を考えられる」が増加

- 単純なデータ活用から全体を見れる人材へのニーズが高まっている
- DS中途採用は74%が「経験者のみ」、即戦力となる人材を求める企業が増えている